丸山湿原群保全の会会報

（第 216 号）

発行日：2025 年（R7）７月 16 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住（いまずみ））
E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com

http://www.hitosato.com/maruyama-shitsugen_hozennokai
保全の会 HP・blog

戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

本来は梅雨終盤の時期なんですが･･･。梅雨は無かった？もうこの「言葉」いらないのでは？気象用語としては「特定の時期に現れる典型的な気象現象を指す」だそうで、最近は典型的な気象現象とは言えないのでは。

「五月雨をあつめて早し最上川」松尾芭蕉（奥の細道）。松尾芭蕉が歩いた元禄のころの気候はどんなだったのでしょうか？寒冷期に当たり西日本は比較的過ごしやすかったらしい。しかし、寒さと大暴風雨による飢饉が元禄８年に起こっています。芭蕉の旅はその前なので、東北地方の人々の迷惑にはなっていなかったと考えられます。お金持ちばかりを頼って旅していた？「俳諧の大御所」ですから･･･。一方、５代将軍徳川綱吉（１６４６～１７０９）は、元禄の飢饉のさなかに「生類 憐 みの令」を出して肉食を禁じ、１０万両近い金を「お犬様」の飼育に投じて庶民をいっそう苦しめたようです。選挙期間中の現代と何か共通点を感じてしまうのは私だけでしょうか？いや今の論点は「減税かばらまきか」の「庶民憐みの令」なんですが･･･選挙の時だけ？

ある意味今も飢饉の時代。「米騒動の真実」は未だによく分かりませんが、気候変動がもたらす食料危機も大きいはず。選挙で「気候変動」や「生物多様性」が全くテーマにならないのはなぜなのでしょうか。「票にならない」からなんですが、票になる世の中を作ることが大切。

「暑い暑い」「米高い」「物価高」「お金ない」は皆さん口にしますが（もちろん私も）、ガソリン代値下げや電気料金補助、現金ばらまきなどの場当たり的なことばかりで本当にいいのでしょうか？「持続可能な社会保障」はテーマにされても、「持続可能な地球」をテーマにはできないのか？やはり今の生活が大事。ただ、「飢饉で種もみを食べてしまう」ようなことになっているのではないかと危機感が募ります。と今回も甘ちゃんの独り言でした。

（今住 7 月 10 日作成）

2025 年度総会報告　★6 月 14 日（土）　西谷会館（会議室）

午前、雨の中 3 名で基礎調査の後、西谷会館で総会を開催。会員総数 36 名中出席 10 名、欠席 12 名、委任 13 名。で総会は成立。出席が少ないのが寂しかったですが議案は全て成立、承認をいただきました。

議論として「会費未納会員」をどうするか。理由もなく会費を払わない場合は「自動退会にしては」と議論に。総会は 6 月に行われますが、4 月の初めには「ボランティア保険（年 500 円）」に全員加入。経費を圧迫する面もあるため、もし退会する場合は年度内に申し出てください。会費の支払いが確認できない場合は「自動退会」とします。出来たらやめないでね･･･

「ガイド研修」は近場で「網引湿原」に決定。9 月実施です。詳しくはまた案内をお出しします。バス代が高い！今年度が最後かも？

セミナーも復活！「西谷の森公園　自然史講座」とのコラボで両生類セミナーを 11 月 1 日（総

会時は日時未確定）に実施します。講師は、「兵庫県自然保護協会」調査部長　大沼弘一さん+α？
　テーマは「本当にいる？オオサンショウウオ！西谷・宝塚に？」になる予定です。詳細は決まり次第。
　丸山湿原自体については、慢性的な水不足。こちらはまさしく「お天道様」次第。周りの常緑樹の伐採、草刈りの継続しかないのでは、となりました。また、いつでもご意見いただければ検討していきます。

西谷小学校環境学習　★6 月 16 日（月）西谷小学校 3・4 年生フィールド学習　1 回目

　今年度から宝塚市がマイクロバスを廃止。どうするのかと思っていましたが、なんとジャンボタクシーで登場！ハイエースですので通常は 9 人まで。12 歳未満の子どもの場合は、引率が 1 人乗車した場合、児童は 12 人まで同乗できるそうです。児童は 11 名、教諭 1 名でピッタリ？教頭先生と先生もう一人は自家用車で参加。

これがジャンボタクシーだそうです

　7 年ぐらい前まで「阪急田園バス（旧西谷バス）」をチャーターして来ていたのが嘘のようです。どちらにしても費用は？？？ですが「県天然記念物」を活用した自然体験学習。値打ちはあるのではないでしょうか。ただ、座学でも言ったように「特別な場所ですが、ここだけではなく身近（家の裏）にもある自然」だということを意識してほしいものです。西谷とはそういうところです。（**生物多様性保全上重要な里地里山（略称「重要里地里山」）**）
　さて、偉そうなことを言ってますが結局は「山遊び」。山でいかに楽しめるかが重要なミッション。曇りでとっても蒸し暑いがテンションは高い！やはり食べることがトップに。いつも通り**ドクダミ（蕺草）**の匂いを嗅ぎ（食べない）、**カンサイスノキ（関西酢の木）**をムシャムシャ。3 年生は初めてなので疑心暗鬼。4 年生は好き嫌いありで食べる子と食べない子。まだ葉は柔らかくまずまずの食感。いい感じです。ちょうど野イチゴの時期。赤い実が見つかりました。その時は「クマイチゴ」と言ったようですが**ニガイチゴ（苦苺）**だったようです。名前の通り少し苦味があり甘みは少ない。オレンジ色のナガバノモミジイチゴがあれば最高なんですが、まだ早いのか見当たらず。残念。

開花中　菌従属栄養植物ツチアケビ

　丸山名物**ツチアケビ（土木通）**に到着。が？？？株立ちのはずが 1 本しか立っていません。動物が倒した（人間を含む）？意図的に 1 本仕立てに剪定した？他は枯れた？想像は膨らみますが原因は不明。葉っぱはありませんがちゃんとランの花を咲かせていました。そう「植物をやめた植物」ともいわれる「菌従属栄養植物」。座学でも「これ憶えてたらとっても賢そうに思われるで～」と、リーピートアフターミーで大合唱？（blog 参照）したやつです。なんと覚えている子がいました。めちゃくちゃ「賢そう」で大人のように見えました。

監督の指示のもと枯れ松処分

　その後は川へ。即水没多数。まー我慢できる年齢でしょう。自己責任で。湿度が高く靄（もや）がかかっています。基本、長靴と長袖を必須にしていますので熱中症気味の児童も出てきそうです。水分補給はマメに。梅雨に入ったばかり（最初はまとまった雨が降った）、風も吹いたのか枯れ

川　湿度が高くもやが･･･

松が倒れて道をふさいでいました。下見の時に倒れていて、子どもに伐ってもらおうと目論んでいました。ノコギリを持って･･･「伐る人？」「ハイハイハイ！」作戦成功です。腕を組む監督のもと、ひたすら伐る。枯れ松とはいえ「こえ（油脂が固まった赤い中心部）」があり、結構硬い。上から伐るからノコギリが詰まる。やってみないと分からないことばかり。しかし見事切断し、ルートを確保してくれました。（下はくぐれたけどね･･･）

カキラン開花

湿原ではカキラン（柿蘭）が咲き始め。しかし植物はいまいち人気なし。

帰りもばっちり水没　カニは捕まえた！

ハッチョウトンボ（八丁蜻蛉）は第４湿原で１頭（匹）、雄のみ確認。蒸し暑さでダウン寸前の児童は水場でクールダウン。手のひらを冷やすのはとっても効果的。薄着にもなって一気に元気を取り戻しました。ま～初めはこんなもんでしょう。次回以降は蟻地獄も待っている？最後にもう一度川に入ってカニ探し。保育園児と同じ。と言いながら私も結構必死に「カニはどこや～」と石をめくっていました。雨のあとは路上にもいるんですが･･･次回も楽しみです。

定期活動　★作業　ササ刈り　６月 22（月）　６名で作業

ササ刈りの成果

この日も暑い。私は村の共同作業（やっぱり草刈り）で欠席。皆さん手刈りで、第1湿原手前のササ刈りを実施しました。暑さと手作業のため進みませんが結構すっきり。暑さと年齢には勝てず、ベンチで横になる姿も･･･一瞬体調不良かと思いましたが、後日お話を聞くと「休んでただけや！」と。よかった。最近は畑で脱水症状を起こして亡くなる方も多い。無理をせず気を付けていきましょう。一人の作業も危険。夏場の作業は今後難しくなっていくかも。

暑さでダウン？いやいや休憩中

定期活動　★基礎調査　７月 12（土）　９名で活動　暑い！

目的	市内	市外
丸山	41	35
ハイキング・登山	37	61
散歩	10	7

来場者数計 191 人

（竹筒ポスト集計）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導（EC）	PH
入口	10：00	28.4℃		
第３湿原	10：32	【※℃】	※μS/cm	6.5
視点場	10：58	28.8℃	※μS/cm	不可
第１湿原	11：10	【※℃】	※μS/cm	6.3
第２湿原	11：39	【※℃】	※μS/cm	6.4

※EC（電気伝導度）は機材バッテリー切れのため計測不能。視点場の PH は水なし。

ずーっとうだる様な暑さ。何をしても汗が吹き出します。来訪者も激減。この日、途中で出会ったハイカーも汗でビチャビチャでした。道場～大岩ヶ岳～丸山湿原コース。道が分かりにくいようで「道場へ帰る道」を聞かれました。GPS のマップを入れてないようで、「遭難しないよう気をつけて下さい」とお話ししました。低山ハイク、結構危険です。この時期は熱中症で動けなくなることも･･･

気力も失せながらダラダラ観察と基礎調査。水が少なく温度が高いと虫も少ない。と会員さんがゴミムシらしきものを見つけました。よく見るとオオオサムシ（大歩行虫）？捕まえます。自信たっぷりに「この手の虫はお尻からプシューと臭いものを発射することが･･･」と言って匂いを嗅ごうとすると･･･まさしく「プシュプシューッ」と２回発射。まさか上に発射するとは思っていなかったので顔面に。しかも焼けるように痛い！「ヒエ～ッ」なめてました。毒？酸（メタクリル酸を含む分泌物）だそうで、皮膚や目に触れると「ちょっとちょっと」だそうです。ほっぺたにかかって、やけどのような感覚。真っ赤に腫れ、あざのように･･･ウェットシートをもらってすぐにふき取りました。（なぜかオサムシは持ったまま）真っ赤に腫れあがった顔を確認してもらうと、もともとの「シミ」しかないとのこと。自分の面の皮の厚さに驚きました。素手で持てないことはないが要注意！今まで無事だったのが不思議です。噴射口などをよ～く確認した後に逃がしました。皆さんも気を付けましょう。

ここから酸を噴射　痛い！

木道脇　水全くなし

湿原は本当に水が少なく、木道横も干上がっていました。溜まるところにはそこそこの水がありますが、流れはほぼ無し。水路へ流れ出る量もチョロチョロ。EC が測れたら相当高い数値が出ていたに違いありません。慢性的な水不足。どうなるんでしょうか？しかし、第１湿原下流部ではハッチョウトンボが数匹縄張り争いをしていました。来年に命を繋いで欲しいものです。やっぱりキーワードは「滲水（湧水）湿原特有の浅い水面積」でしょうか？

ピンボケですが　いてよかった

北方系　ミカヅキグサ開花

ミカヅキグサ（三日月草）も咲き出しました。北方系の植物で暑さに弱いのではと思いますが毎年元気。ヌマガヤも北方系か。気温は関係ないのか？

春に気になったクロモジ（黒文字）の雌株。実がなっていました。黒くおいしそうです。チャレ～ンジ！「えぐいえぐい」種しかないし･･･どう考えても食用にはならず。葉や茎はお茶になるのに･･･油（アロマ？）を搾るにはいいとか。なるほど。奇妙な「わた虫」も見つかりました。なぜかサルトリイバラ（猿捕茨）に多い。よ～く見ると動きます。この顔どこかで見たような･･･ハゴロモ系？調べてみるとアオバハゴロモ（青翅羽衣）の幼虫のようです。成虫はウンカの太ったような虫。植物に白い綿のような筋があったらこのコかも？カイガラムシもか？

クロモジの実　食べるのは無理

アオバハゴロモ？幼虫

７月の末にはサギソウも開花予定。今年も「サギソウ開花数調査」を実施します。参加希望者は、８月 23 日（土）10：00 に丸山湿原駐車場に集合してください。申し込みは必要ありません。湿原内で観察できる数少ない機会。宣伝はしませんので、ぜひ（そっと）お越しください。今年は多くの花が意外に遅い。この暑さでスピード UP もあり得ますが 20 日頃が例年のピーク。暑く水のない今年はどんな結果になるやら。一緒に確かめましょう。暑さ対策は万全に。季節の巡りが早いから秋になってるかも？　夏がなが～～いだけか？

次回活動日　７月 27 日（日）８月９日（土）23 日（土）サギソウ開花数調査 24 日（日）活動なし